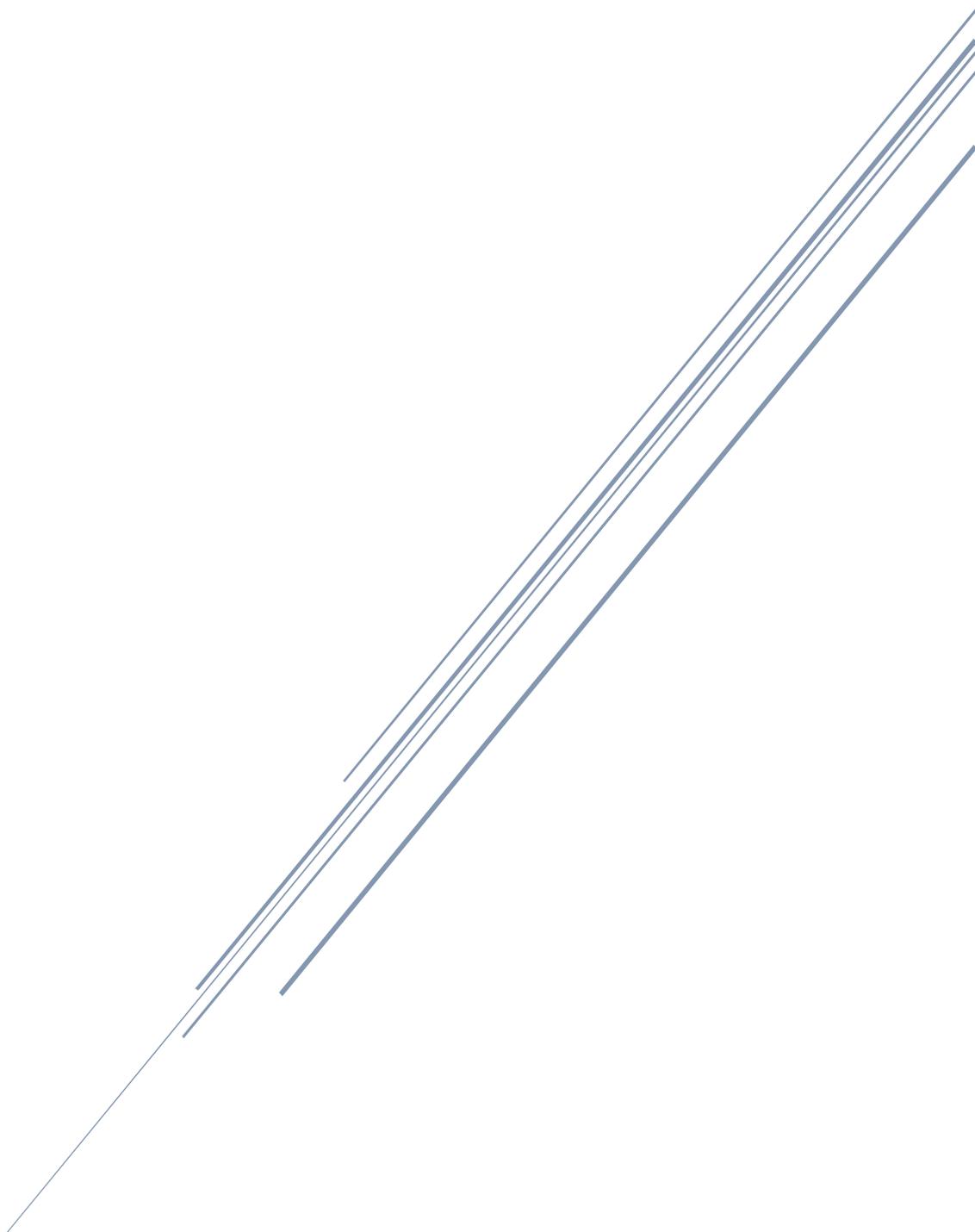


子どもの権利に関する条例市民モニター会議について 令和2年度報告書 No.6



総合政策部 人権推進課

1 今年度の実施内容

1. 実施形態	新型コロナウイルス感染予防のため、例年のような会議形式ではなく、アンケート形式によりモニター委員の意見を集約
2. 市民モニター	子ども市民モニター27名(市内中学校の生徒会役員:西信達中6名、信達中5名、一丘中9名、泉南中7名) 一般市民モニター6名
3. 検証内容	1.子どもの権利条例の実施と広報について(「条例の実施と広報」条例第15条第2項) 2.コロナ禍の非常事態に対する泉南市の取組について(「災害時における子どもの安全」条例第13条第1項)
4. 検証方法	送付資料を確認の上、各自でアンケートに記入し提出する
5. 送付書類	・冊子「泉南市子どもの権利に関する条例」 ・アンケート ・返信用封筒
6. 配布方法	子ども市民モニター:学校を通じて配布、回収 一般市民モニター:郵送
7. 配布日	令和2年10月30日(金)
8. 提出期限	令和2年11月20日(金)

2 検証内容1

1.子どもの権利条例の実施と広報について(条例第15条第2項)

(質問項目)

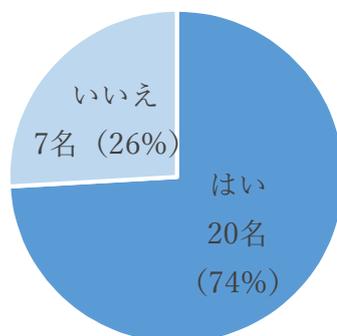
- ①あなたは泉南市に「子どもの権利に関する条例」があることを知っていましたか
- ②あなたはその条例をどこで知りましたか
- ③あなたの友人、家族、先生は「子どもの権利に関する条例」を知っていると思いますか
- ④「泉南市子どもの権利に関する条例ができました」の冊子をみて、わかりやすかったところ、いいなと思ったところはどこですか
- ⑤「泉南市子どもの権利に関する条例ができました」の冊子をみて、わかりにくかったところ、工夫したらいいと思ったところはどこですか

【子ども市民モニター】アンケート回答数 27 名

(質問項目①) あなたは泉南市に「子どもの権利に関する条例」があることを知っていましたか

「はい」… 20名

「いいえ」… 7名



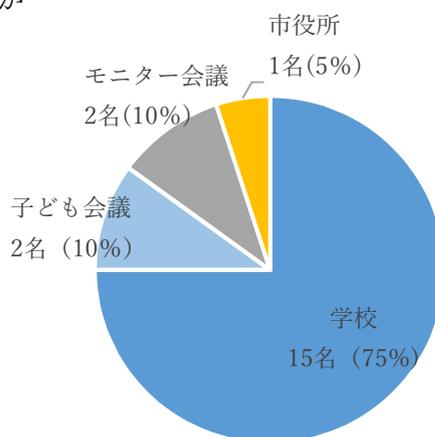
(質問項目②) あなたはその条例をどこで知りましたか

学校 … 15名

子ども会議 … 2名

モニター会議 … 2名

市役所 … 1名



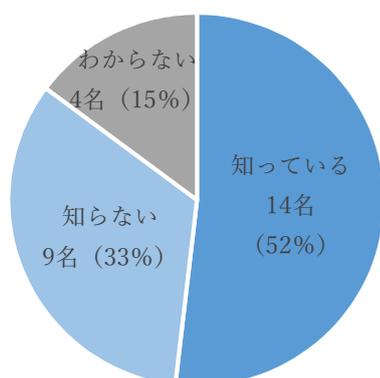
(質問項目③) あなたの友人、家族、先生は「子どもの権利に関する条例」を知っていると思いますか

友人：「知っていると思う」…14名、「知らないと思う」…9名、「わからない・その他」…4名

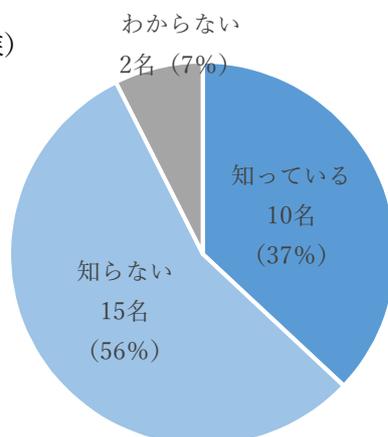
家族：「知っていると思う」…10名、「知らないと思う」…15名、「わからない・その他」…2名

先生：「知っていると思う」…23名、「知らないと思う」…2名、「わからない・その他」…2名

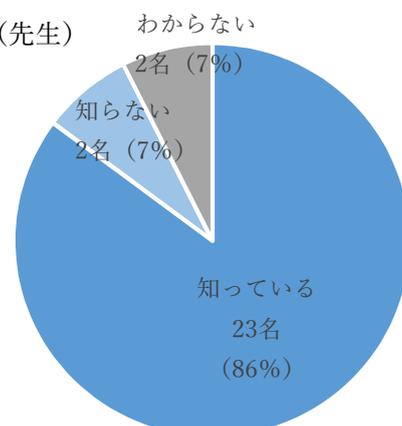
(友人)



(家族)



(先生)



(質問項目④)「泉南市子どもの権利に関する条例ができました」の冊子を見て、わかりやすかったところ、いいなと思ったところはどこですか

- 詳しく書かれていていいなと思った
- 字がとても見やすかったです
- 大事な所が太字で書かれていてわかりやすい
- イラストが多いところ
- この条例を全く知らない子どもでもどういう条例なのか見やすくわかりやすかった
- 子どもが考えた起章がのっているところ
- 具体的にどんなことをするのかのっているところ
- 子ども達のイラストがのっているところ
- 分かりやすくかかかれている
- どのようなシステムかがよくわかった
- 条例文の説明
- 分けているところがわかりやすかった (第2章の説明のところ)
- 1つ1つ枠や周りに違う色を入れることで、わかりやすく見やすかった
- ぎっしりつめつめにするのではなく間をあけて、間に絵などを入れて少し良かった (見やすかった)
- 上にわかりやすくこのページではこんなことを書いているから見やすい
- イラストをよくつかい、誰でも読みやすいように感じられる点
- 初めと終わりに伝えたいことがわかりやすく記載されている点
- 大人が子ども達のことを想ってくれているところ
- 絵などがあってたのしい感じでよかった
- 1つ1つの条例について説明がきちんとされているところ
- いいなと思ったところは、裏面に、相談機関のご案内というページがあり、相談内容や電話番号が書かれていて、本当に子どものことを考えている理想がたくさんあって、本当に尽くしてくれているというのが伝わってきた！というところでした
- P3~4の「子育てと子育てを社会で支え合う仕組みが整っているまちとは？」のところ、色々なまちについて書いており、その中でも「子どもの居場所があるまち」がと書いてあるところが、わかりやすくいいなと思いました
- 大事なところを太文字・河川を引いているところ
- 裏に書かれていたQ&Aがなるほど！となるものがたくさんあっていいなと思いました
- ふりがなをふっていてわかりやすかった
- どの立場の人へ向けてのものか分けて書いているところ
- 1条~16条にくわしく説明が書かれているところ
- 色がきれいなところ
- 子どもの権利が初めて知った人でもわかりやすく理解しやすかったです
- 子どもがハートを抱えているところがとても良いと思いました
- 子どもが参加できるところがいいと思いました

- せんなん子ども会議
- 条例の目的（第1条） 子どもに対してすごく考えてくれている
- 1つ1つわくで囲まれていてよかった
- 子どものことをちゃんと考えていていいなと思った
- 絵
- 第1章の1条 人間としての尊厳を持って子ども時代を幸せに過ごすことができるまちがよいと思いました
- 第2章の14条1項 11月20日に泉南市子どもの権利の日をしているところがよいと思いました

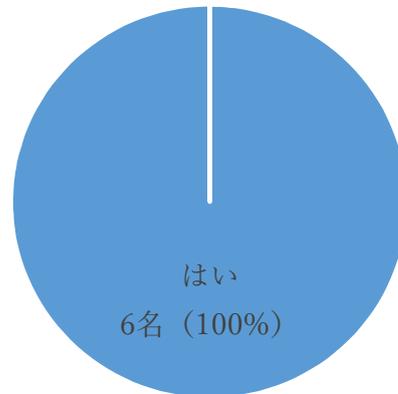
(質問項目⑤)「泉南市子どもの権利に関する条例ができました」の冊子をみて、わかりにくかったところ、工夫したらいいと思ったところはどこですか

- 図があまりなかったこと
- 小学生などが読めないような漢字がある
- 色を工夫したら少しよくなると思った
- 小さな字で子どもが見るには分かりにくい。漢字が多い。長い文章で読むのが長くなる。
→工夫：子どもバージョンの簡単な冊子を作る。
- 長文すぎて読む気になりにくい
- 小学生が見るとしたら漢字が読めないからふりがなをふったりする
- 色のバリエーションを増やしたらいいと思う
- 権利条例とはどんなものかを抽象的に表紙に書く
- 低学年の子どもや漢字の読めない子どもでも読めるようにふりがなをつける
- ズラーっと書いていて少しみにくい
- 目次的なものを入れておいてほしかった
- 長いなと思った
- 自分はこの冊子を持っていたから読んだことがあるな—と思ったから何冊かあったらうれしい
- 十分この冊子を見て、大人達が子供達に一生懸命になってくれているというのが伝わり、絵なども加えていたので、私は工夫する場所はないと思いました
- 文章で大切な言葉などを赤色や黄色などのわかりやすい色にしたらいいと思いました
- もしこの冊子を子どもに見せるなら、もう少し難しい言葉を優しい言葉で使うといいと思いました
- 子どもがもっと自分に身近なものなのだと思えるよう、子どもに向けた分を書くのがよいのではないかと思います
- 冊子に色を入れてあげる
- 読み仮名をふったら、もっと分かりやすくなると思った
- 第2章の8条が少し分かりにくい説明だと思いました

【一般市民モニター】アンケート回答数 6 名

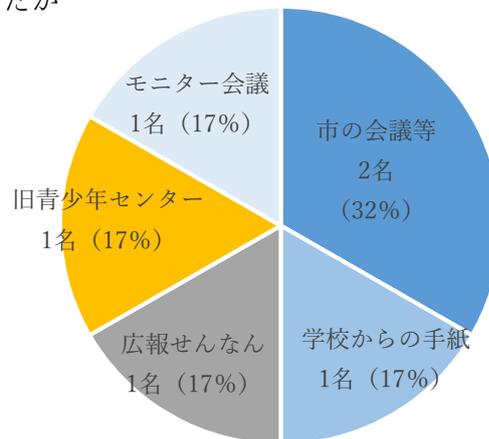
(質問項目①) あなたは泉南市に「子どもの権利に関する条例」があることを知っていましたか

「はい」… 6名
「いいえ」… 0名



(質問項目②) あなたはその条例をどこで知りましたか

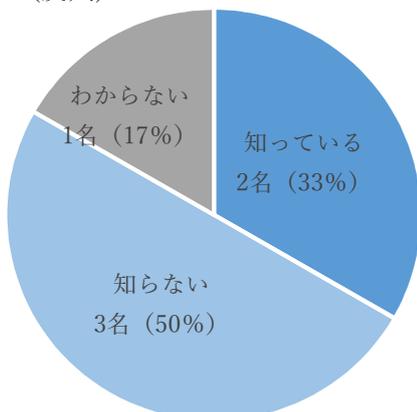
市の会議・講演会等 … 2名
学校からの手紙 … 1名
広報せんなん … 1名
旧青少年センター … 1名
モニター会議 … 1名



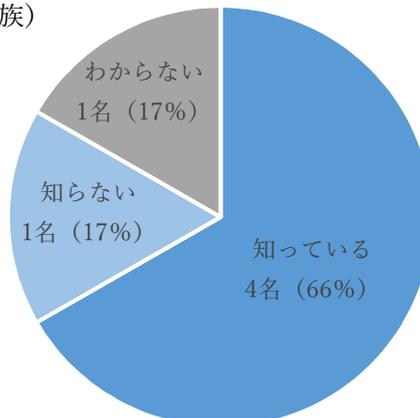
(質問項目③) あなたの友人、家族、先生は「子どもの権利に関する条例」を知っていると思いますか

友人：「知っていると思う」…2名、「知らないと思う」…3名、「わからない」…1名
家族：「知っていると思う」…4名、「知らないと思う」…1名、「わからない」…1名
先生：「知っていると思う」…4名、「知らないと思う」…0名、「わからない」…2名、

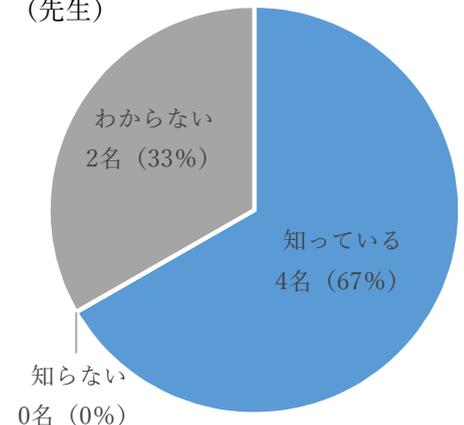
(友人)



(家族)



(先生)



(質問項目④)「泉南市子どもの権利に関する条例ができました」の冊子をみて、わかりやすかったところ、いいなと思ったところはどこですか

- 条例前文の子どもたちからのメッセージ
- 文章が読みやすいと思います
- 子どもたちが起草した条例前文。特に末尾「私たちの気持ちを聞くときに～他のひとの気持ちや意見を聞くことを大切にします」
- 子どもたちにとって「やさしいまち」とはと具体的な目標があり、そのことがどの条例にあてはまるかわかりやすく図式してあるのでわかりやすかった
- 条例前文の子どもたちのメッセージがよかった。思いが伝わりました
- 絵がたくさんあり、読みやすいと感じました
- Q&A方式で書いているのもわかりやすいと思います
- 相談機関の電話番号もあり、困った時にすぐ活用できると思いました
- ひらがなとイラストを多用し読みやすい

(質問項目⑤)「泉南市子どもの権利に関する条例ができました」の冊子をみて、わかりにくかったところ、工夫したらいいと思ったところはどこですか

- 第3章条例の実施と検証
→市長、子どもの権利条例委員会、市民モニターの役割はわかるが、条例を実践していくために市民がどうするのか書かれていない。公表を受けて、条例があるとわかった市民は、具体的に実践するための例があるとよい
- 情報を伝えることが多すぎて項目が多すぎると思います
- 第7条子どもの居場所づくり：表現が抽象的なのは具体性に乏しいからだと思う。今後力を入れる必要ありと思います
- 子どもの権利の尊重の市および市民等の役割：市の役割はすこし難しく伝わりにくいように思います。具体例があればと思います
- 相談機関の相談内容が、大人向けの内容に感じるので、子どもが読んだ時にも、どこに相談していいか分かるようになったらもっと良くなると思います
(例) ○いじめられた時 ○いじめに加担してしまった時 ○友達とうまくいかず悩んでいる時
○学校に行きたくない時 ○家に居場所がないと感じる時 等々
- 文面が固苦しい
 - 1) 条例前文～子どもたちが起草～ → ～起草しました～
 - 2) まちのおとなへ → 大人の人(方)へ
 - 3) 条例の目的とは? → 条例の目的って? とか 条例の目的について
↑
(他にも散見されます)
- 目次がない

3 検証内容1の結果から

子どもの権利に関する条例については、子どもモニター27名中20名(約74%)が知っているという回答があります。一方で、学校と連携し、チラシやマスクを配布するなど子どもの権利の日になんだ啓発をおこなっているにも関わらず、条例を知らない子どもが7名もいたことは残念です。チラシやマスクを配布する際に子どもの権利の日を意識してもらえよう呼びかけやその他の啓発方法について、今後、検討していく必要があります。

また、条例を知っていると答えた子どものうち、友人・家族・先生は条例について知っていると思うかという質問に対して、友人・先生は知っていると思うが、家族は知らないと思うと答えた子どもが半数近くいて、残念ながら、学校でもらったチラシなどについて、家庭で話をしていない様子が見えます。子ども達への周知・啓発は引き続き行いながら、今後は、直接保護者へ周知する方法についても検討が必要です。

一般市民モニターについては、継続してモニター委員になっている人が多いため、回答した全員が知っているという回答がありました。また、家族にも話をしたという回答がある一方で、どこまで理解しているか、実感として受け止めていないといった回答や、友人もあまり知らない人が多いという回答があり、まだまだ周知不足であると改めて実感する結果になりました。子どもが条例について知り、自分たちには「生きる・守られる・育つ・参加する」権利があって、大切にされる存在であると感じることは重要ですが、保護者をはじめ地域の大人も条例を理解し、子どもの声に耳を傾け、子どもの権利の擁護に努める役割であることを認識してもらえよう、広報をしていく必要があります。

また、「子どもの権利に関する条例」冊子については、子どもモニター、一般市民モニターともに「わかりやすい」「絵がたくさんあり読みやすい」といった評価が多いです。また、子どもモニターからは「子どものことをちゃんと考えてくれていいなと思った」「大人が子ども達のことを想ってくれているところ」という意見も見られ、この冊子の目的を十分に果たしていると思われる。

冊子の改善点としては、「図があまりない」「色がもう少しほしい」という印象に関する意見と、子どもモニターからは「低学年でも読めるようフリガナをつける」「文章をもう少し易くする」「文章が長い」といった小学生でも読めるような、より簡単な内容の冊子を希望する声が多くなっています。一般市民モニターからは「何をしたらいいかの具体例があるとよい」「具体性に乏しい」「相談内容のところ子どもには難しいので〇〇した時という風にしてはどうか」という意見がほとんどでした。

4 検証内容2

2. コロナ禍の非常事態に対する泉南市の取組について（条例第13条第1項）

（質問項目）

- ① コロナ禍でどんなことを感じたり考えたりしましたか
- ② その気持ちを話せる人・話せる場所がありましたか
- ③ 話したことで気持ちに変化はありましたか

④いいえの人は、どうしてですか

⑤コロナ禍であなたが子どもの権利に関して学校や市に対してやってほしいな・あったらいいと思う（思った）取組はありますか

【子ども市民モニター】アンケート回答数 27 名

(質問項目①) コロナ禍でどんなことを感じたり考えたりしましたか

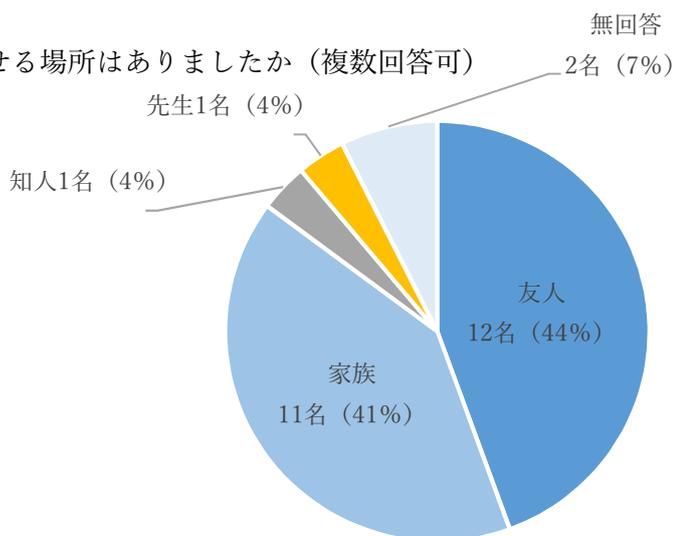
- マスクをしていない人がたまにいるなあ・・・と思いました
- 生徒の全員がどれだけ勉強に取り組んでいるのか少し心配だった
- (休校中) 運動不足、勉強不足が不安
友達づくり、スタートがうまくいかなかったからこれからついていけるか。コロナにかからないか
(休校後) 行事が無くなり、勉強ばかりでメリハリが少ない。周りで咳やくしゃみをされると、コロナかも・・・と思ってしまう。マスクをしてるから、目から下の顔や、どんな気持ちかわからない
- ストレスがすごくたまっていたけど、サッカーが好きだからサッカーをして楽しんでいた。勉強もしようと思い、1日、1～2時間していた
- 勉強や学校のことでの不安。自分への不安
- 外に自由に遊びに行けない辛い気持ち。試合や行事、学校がなくなり残念な気持ちや悔しい気持ち。これから先、ずっとマスク着用が必要なのか等の不安。受験への影響などの心配
- 学校を卒業できるか。修学旅行は行けるか
- 学校がなくなって、今までは学校楽しくないとか、行きたくないと思っていたけど、はやく学校に行きたいと思った
- 感染者が減ったのにまた増えてこわい。感染予防をちゃんとする
- いままで、あたり前だったことが、あたり前じゃなくなったこと
- 今まで普通にやっていた事が本当に何もできなくなってしまって、これからどうなるんだろうと思ったり、学校にも行けなかったのが友達とも会えなくなり、外出もひかえなければいけなかったのが、家にいる時間がほとんどになり、いろんな事があたり前だったのに気づかされる時間にもなったが、不安な気持ちでこれからはずっと心配でした
- 学校が休みの期間は、早く友達と会いたい、勉強いけるかな！ひまやなど感じていた。でもこんなに毎日(一日中)家族と過ごすことがあまりなかったから家族との団らんを楽しんだり、家のことをたくさん手伝えるいい機会であったと思う。学校がはじまって友達と会えてうれしかったり、コロナの感染者もへってきて安心していただけ、最近は増えていて、すごくたまにマスクをしていない人もみかけるので、マスクをしっかりとすることと、密をさけてほしいと思う
- とくにない
- 普段なにげに外に遊びにいたりしたけれど、コロナが流行ってしまったからは自由に遊びに行けないし、遊んでいてもマスクをしなければいけないし、遊びにいても店に入っても必ず消毒をしなければいけないところが不便だと思った

- 今までの暮らしの便利さを改めて感じました。また当たり前ほど大事なものはないと思いました
- 長期の休みが出来てうれしい反面、受験生としてのこの年に、どう勉強すれば良いのかがわからずあせる気持ちがありました
- 学校の休みが長い
- Switch バカ売れた 一部はすごくもうかった
- 家にずっといるとストレスが溜まったりいろいろと大変でした
- 私たち中学生は少し始業式が遅れたぐらいだったけど、大学生の方々は2学期が始まっていない所の方が多かったから、自分が学校に行けていることを大切にしないと、と思った
- 何もすることがなく暇だった
- 授業のスピードがはやい
- 学校大丈夫かな？とか不安
- いままでこんなに日常が大切なんだと思った
- 今後社会の情勢がどのようになるのか
- 人は簡単に死んでいくということ
- その対策があったので子どもが無事だったな

(質問項目②) その気持ちを話せる人・話せる場所がありましたか (複数回答可)

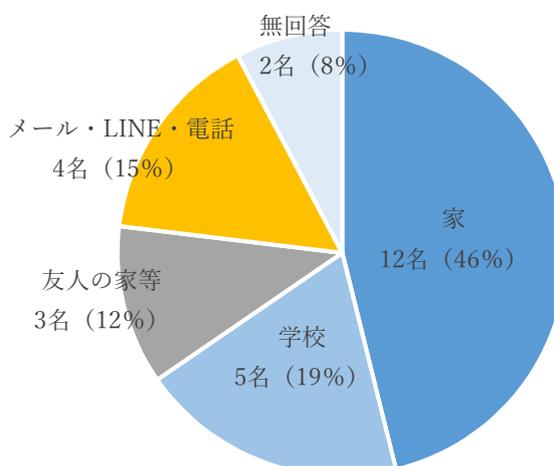
【話せる人】

友人 … 12名
 家族 … 11名
 知人 … 1名
 先生 … 1名
 無回答 … 2



【話せる場所】

家 … 12名、
 学校 … 5名
 友人の家等 … 3名
 メール・LINE・電話 … 4名
 無回答 … 2名

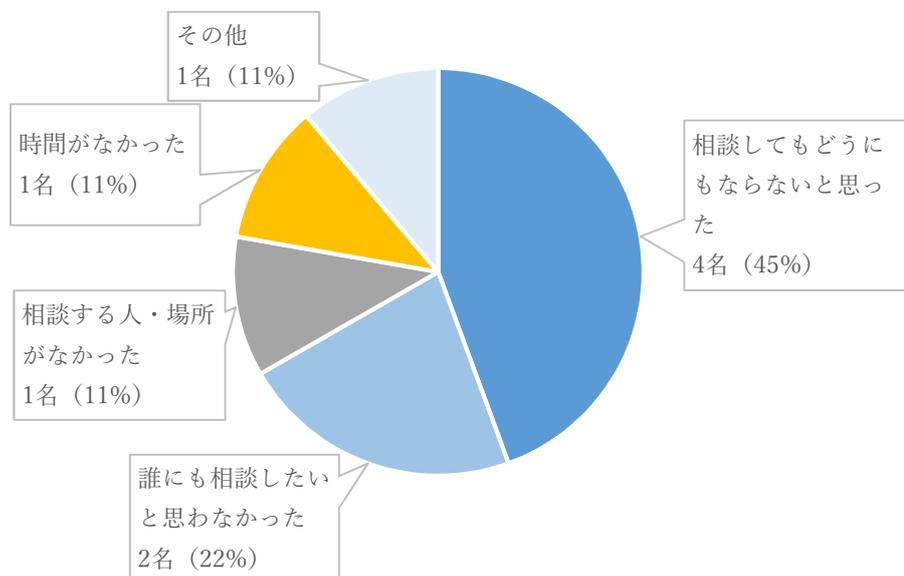


(質問項目③) 話したことで気持ちに変化はありましたか

- 共感してもらえて良かった
- 自分とあまり変わらないとわかって安心感があった
- 家族→話したら楽になる
友達→共感してくれると「自分と同じ」と思える
- 今までの考え方とは別で、そういう考え方もあると思い、実行に移した
- 気持ちが楽になった
- 共感してもらえることで、心へ負担が少し軽くなりました
- 特になかった
- しっかり勉強をがんばろうと思った
- コロナ禍であたり前になったことに慣れていこうという気持ち
- 不安だった気持ちが話すことにより少し、気がラクになった
- 共感してくれる子がいる
- コロナのおかげで遊びに行けなかったり生活に支障が出たりして、気を付けようと思いました
(いいえにも回答あり：相談してもどうにもならないと思ったから)
- 自分の考えだけでなくその人の考えも合わせて物事に向き合うことができ、とてもスッキリしました
- みんな同じ気持ちだったと思い安心しました
- スッキリしました

(質問項目④) いいえの人は、どうしてですか (複数回答可)

- 相談してもどうにもならないと思った … 4名
- 誰にも相談したいと思わなかった … 2名
- 相談する人・場所がなかったから … 1名
- 時間がなかったため … 1名
- その他 (塾の先生に相談されたから) … 1名



(質問項目⑤) コロナ禍であなたが子どもの権利に関して学校や市に対してやってほしいな・あったらいいなと思う(思った)取組はありますか

- 学校があつてほしかった
- 体育館の開放
- オンラインでの質問会
- 休校中は特に勉強できる場所や教えてくれる所がほしいと思った ⇒一人で勉強は続かない
- 体育館の開放
- サッカーのフットサル場がお金を払って借りることができる
- サッカーのゴールや広場などがあるところがほしい
- おとなにもマスクをしてほしい(イオンとか行った時に、おとなマスクをしていない人がちらほらいたから)
- もし、私たちに権利があるのならば、おとなのみが得をするようなことはなく、また、「コロナで無理だ・・・」と簡単にあきらめずに工夫や別の方法を最後まで考えて欲しい。子どもに夢を持たせてください
- 空調設備が悪いので、そこを改善してほしい
- この前、マスクが学校に配布されましたが、もし可能ならばアルコールを各学校に、お店に無料配布をしていただければいいなと思います
- 密になるようなイベント等はあまり、やらないでほしい。マスクをしていない人がいれば、何か罰をあたえたり、マスクをしていない人にマイナスのことをして、皆がみんなマスクをつけるようにしてほしい
- 休みを長くしてほしい
- 今後、何かの影響で学習の時間がとれなくなった場合の対応をおおまかでもいいので決めてほしいです
- マスクを配る

【一般市民モニター】アンケート回答数6名

(質問項目①) コロナ禍でどんなことを感じたり考えたりしましたか

- ステイホームで人と会い話をする機会が急に少なくなり、季節の移り変わりもあまり感じる事ができない毎日でした
泉南市のホームページの情報をチェックして状況を知るだけでした
子どもたちも学校休校中の生活はどうだったのか、なかなか知ることができず、本当にステイホームだったそうです。子どもの姿も町から消えたようでした。学校再開で子どもたちも元気に戻ってきたと聞き(雄信小)ホッとしました。9月から子育てサロンも再開し(ひだまりの先生の助言を聞きながら)子どもや保護者の楽しそうな姿を見て人と人とのつながりの大切さを実感しています
- 人との交流がかなり少なくなり、親子共々、気が沈む毎日でしたが、学校が始まって1か月位たつと、マスクしながら外で友達と遊ぶ事が徐々に増えましたが、地域の皆さんの眼も気になる場所でした(家の前で遊んでいた為)

- <学校休校になった時>

1日中（毎日）嫌は仕事で子どもだけで過ごすことになる中、生活リズムを崩さないこと（TVやTVゲームばかりにならないこと、1日の中で役割（お手伝い）をもってもらうこと、勉強の時間をつくること、TV電話やオンラインゲームなど友達とつながる環境をつくること）を常に考えていた

- <長期休校があけて学校がスタートした時>

心と体の変化に気を付けていた

→・毎日授業や学校生活について怒って帰ってくる

・学校に行きたくないと腹痛を訴える

- 安全の確保はできているかもしれないが、居場所の確保ができていないと思う

- 私自身は出かける為の忙しさから解放され、ゆったりと過ごせたこと、YouTubeで見聞を拓めることができ、毎日が楽しく感じられました

外では、子ども達がスケボーに興じる姿が随所に見られ楽しんでいましたが、休校が長引くと、少し不安な表情も感じられました。「退屈やね」と声をかけると、大きくうなずいていた様子が印象的

Stay homeには、住宅事情が影響する。家の中であって、一人一人が居場所を確保しないと長期戦は無理でしょう。今後住宅建設にも影響するでしょう

- 幼稚園児、小学生、中学生、高校生は自宅で何をしているだろう。友達、先生と会えなくストレスがたまり大変だろうと考えました

(質問項目②) その気持ちを話せる人・話せる場所がありましたか (複数回答可)

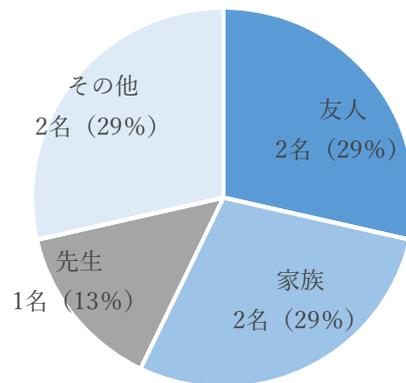
【話せる人】

友人 … 2名

家族 … 2名

先生 … 1名

その他 … 1名



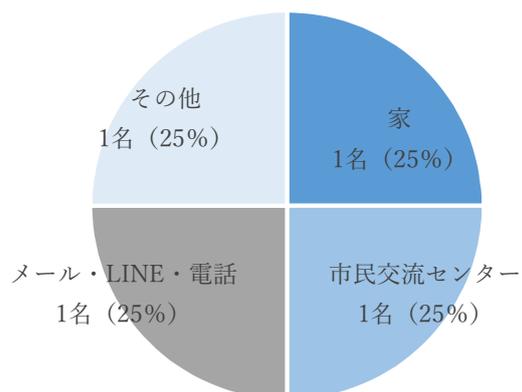
【話せる場所】

家 … 1名

市民交流センター … 1名

SNS・LINE・電話 … 1名

その他 … 1名



(質問項目③) 話したことで気持ちに変化はありましたか

- 思いに共感し、安心し、今休んでいるサロンをどうしたら実施できるか前向きに考える気持ちがうまれた
- あまり変わりませんが、よかったのかもしれない
- 一緒に子どものことを考え、見守ってくれる存在がいるとわかり心強かった
- 和歌山の図書館の例を挙げて、当市を含む泉州各市との比較を説明した。参加者には伝わったと思う。「何か行動を起こさなければ」という気持ちは一層強くなった

(質問項目④) いいえの人は、どうしてですか (複数回答可)

- むしろ楽しんだ程なので相談の必要がなかった

(質問項目⑤) コロナ禍であなたが子どもの権利に関して学校や市に対してやってほしいな・あったらいいなと思う (思った) 取組はありますか

- コロナ発生初期には、不安や安全のため、すべての行事や事業が中止され、それもやむを得ないという思いでしたが、今は、どうしたら今まで行ってきた子どもに関する活動や行事が実施できるか考え取り組む様子が見られるようになりました。修学旅行、運動会、遠足などそれぞれに工夫し、コロナ禍で子どもの最善の利益を考えた取り組みがされています。引き続き取り組んでほしいです。今まで年中行事のように行ってきたことを見直す機会にもなったと思います
- 子どもたちの貴重な発表の場や体験があまり出来なくなっているのが、少人数でも出来る、子どもが思い出として残るようなイベントや企画があればありがたいです。6年生の娘の修学旅行も中止になったままなので、修学旅行だけでもあれば子ども達のいい思い出になると思います
- 医療従事者や長距離運転手の家族が偏見による不当な差別やいじめがあった話を耳にすると大変心が痛む。偏見を生まない徹底した教育。指導をしていただきたい。ピンポイントの指導が必要
- 休日の図書館開放や自習コーナー設置の他、市民ボランティア (退職者・大学生を含む) による学習指導

5 検証内容2の結果から -----

コロナ禍は、子どもたちに「勉強が不安」「試合や行事、学校がなくなり残念」といった不安・残念といった気持ちを与えるとともに、「今までの暮らしの便利さを改めて感じた」「いろんな事が当たり前だったのに気が付いた」など、「あたりまえの暮らし」の中に、とても大切な人権が含まれていることを気づかせ、あたりまえを大事にしようとする気持ちを育むきっかけとなったようです。

また、「子どもたちが感じた不安な気持ちなどを話せる人・話せる場所があったか」という質問に子どもモニター27名中8名(約30%)が「いいえ」と回答し、その理由として「相談してもどうにもならないと思った」「相談する

人・場所がなかったから」と答えています。コロナ禍で感じた悩みや不安を、家庭や学校、または友達に話すことで、「気持ちが楽になった」「共感してもらえて良かった」「心への負担が少し軽くなった」という意見がたくさんありましたが、「いいえ」と答えた子ども達には相談することで心が軽くなるといった経験や相談できる環境がこれま
でになかったのかもしれませんが。悩んだ時に、しっかり聴いてくれる誰かが子どもたちの周りにいてほしいと感じるとともに、いつでも相談できる体制づくりを行政として整備していく必要があります。

6 おわりに

昨年度のモニター会議後の振り返り会議では、条例委員よりアウトリーチ型のモニター会議の実施を検討してはどうかとのご意見をいただき、実施形態について検討を進めてきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校や様々な団体の活動・会議が実施されなくなり、また、例年のように一般市民モニターと子ども市民モニターが一堂に会して会議を行うことができないという状況になったため、今年度は、アンケート形式によりモニター委員の意見を集約することとなりました。

このような形での実施は初めてでしたが、例年は各中学校から2名程度の生徒に参加いただいているところ、アンケート形式により多くの子どもの意見をいただけたことは、非常によかったと感じています。

一方で、例年は子どもモニターと一般市民モニターが一堂に会し、お互いに意見交換することで、子どもの成長や子どもの想いを大人が感じる事ができていたが、アンケート形式で実施することによりそれらを感じる事ができなかったという点は、非常に残念なところです。